



京葉銀行 会社説明会

個人投資家の皆さまへ

(東証プライム : 8544)

2024年3月8日

株式会社 京葉銀行

1. 京葉銀行の特徴・強み

P. 2

2. 株主さまへの還元

P. 10

3. 将来へ向けた成長戦略

P. 14

4. ESG・SDGsの取り組み

P. 25

1. 京葉銀行の特徴・強み

P. 2

2. 株主さまへの還元

P. 10

3. 将来へ向けた成長戦略

P. 14

4. ESG・SDGsの取り組み

P. 25

1943年（昭和18年）設立以来、地元千葉県を基盤に営業展開

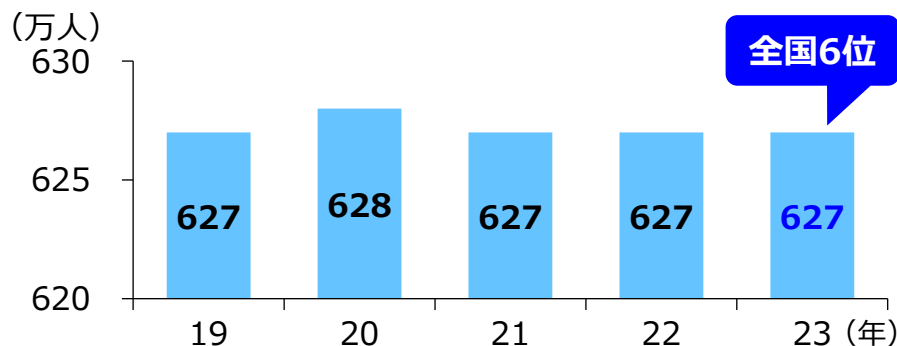
名称	株式会社京葉銀行
本店所在地	千葉市中央区富士見
設立	1943年3月
上場 (証券コード)	東証プライム (8544)
株価 (2024.2.29現在)	750円
総資産 (連結)	6兆6,127億円
行員数	1,929人
店舗数	122カ店 (出張所2カ店、インターネット支店1カ店を含む)

2023年9月末現在



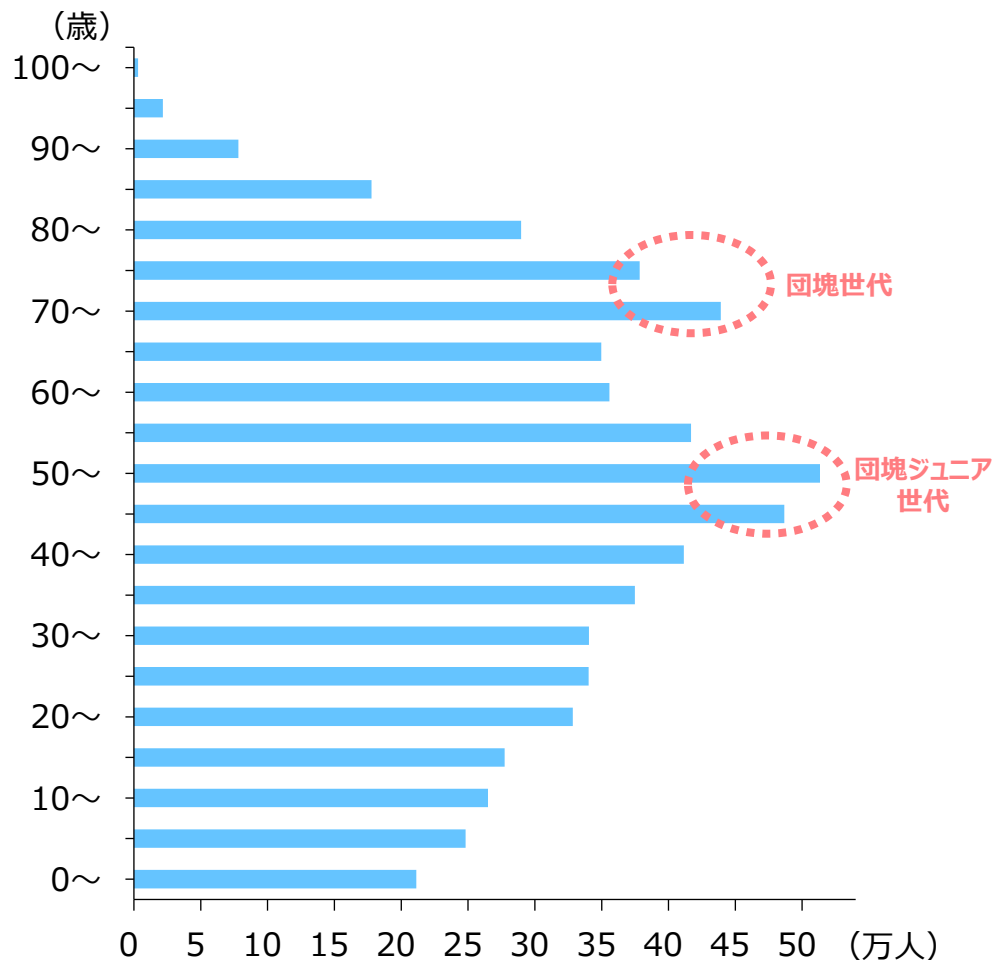
人口規模は全国6位、他県からの移動も1万6千人の転入超過

人口推移



出所：千葉県「毎月常住人口調査」(各年10月1日現在)

年齢階層別人口



出所：千葉県「年齢別・町丁字別人口調査」(2023年4月1日現在)

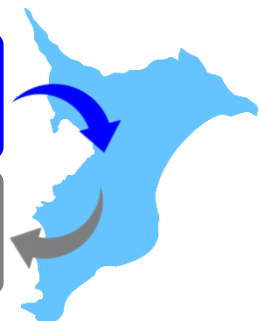
千葉県外との人口移動

転入超過数ランキング (2023年の1年間)

1	東京都	58,489人
2	神奈川県	22,088人
3	埼玉県	17,850人
4	千葉県	16,375人
5	大阪府	13,071人

転入
(他県から千葉へ)
14.0万人

転出
(千葉から他県へ)
12.3万人



出所：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告2023」(国外転入出及び外国人除く)

千葉県は潜在能力の高い、肥沃なマーケット

充実した交通インフラと地理的特徴



バランスの良い産業構造

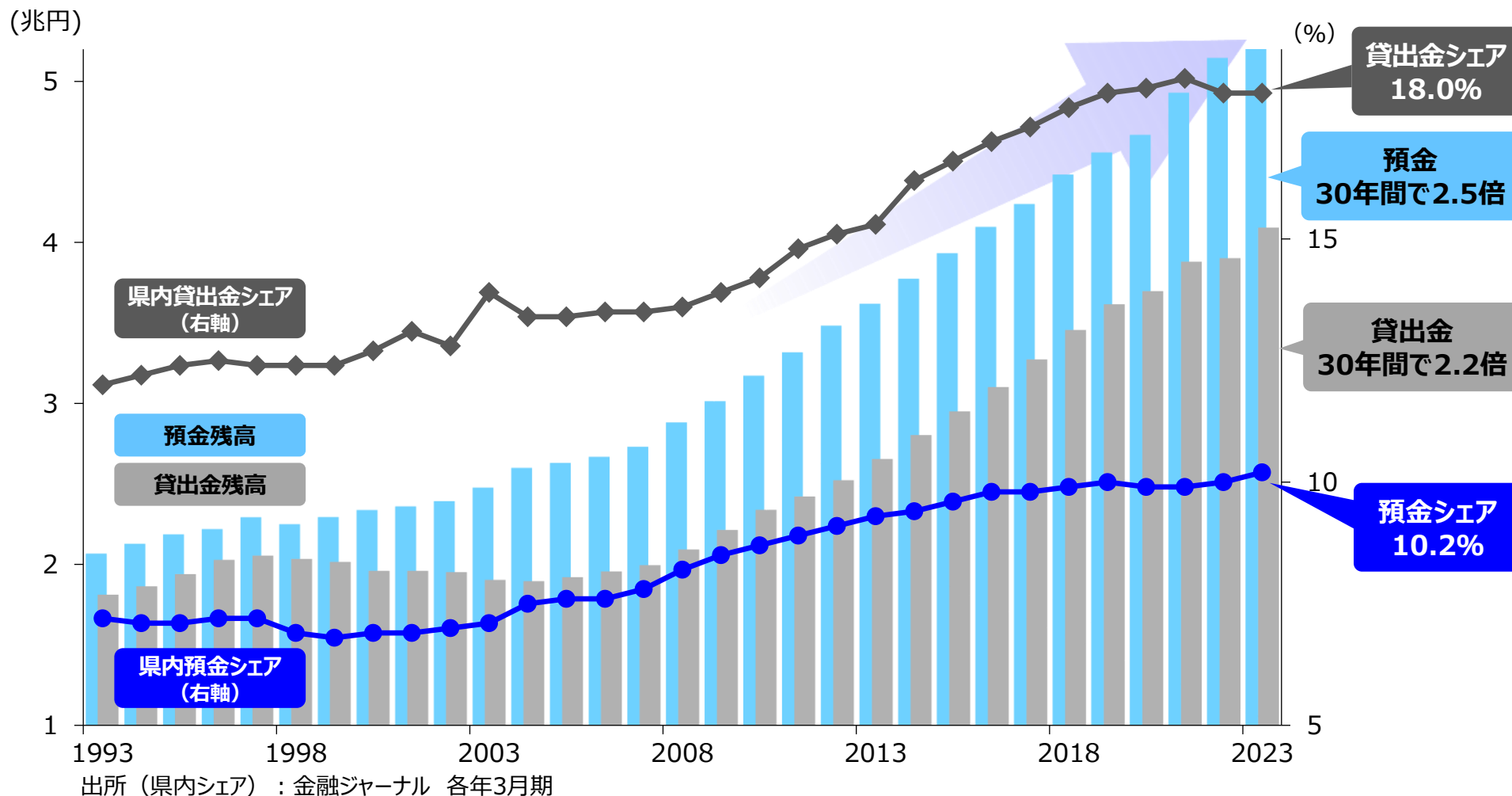
農業	農業産出額	3,676億円	4位*1
漁業	海面漁業漁獲量	10.5万 t	7位*2
工業	製造品出荷額	11.9兆円	8位*3
商業	年間商品販売額	13.0兆円	9位*4
中小企業数		11.4万社	9位*5
開業率		5.0%	4位*6
港別貿易額の合計		51.3兆円	1位*7
県民所得		18.7兆円	6位*8

- 出所：*1 農林水産省「令和4年農業産出額及び生産農業所得」
 *2 農林水産省「令和3年漁業・養殖業生産統計」
 *3 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス（製造業）」
 *4 総務省・経済産業省「令和3年経済センサス（卸売業・小売業）」
 *5 中小企業庁「都道府県・大都市別企業数、常用雇用者数、従業者数2021年6月」
 *6 中小企業庁「2023年版中小企業白書」
 ※開業率…当該年度に雇用関係が新規に成立した事業所数／前年度末の適用事業所数
 *7 財務省「令和4年貿易統計」輸出と輸入の総額
 （千葉県は成田国際空港、千葉港、木更津港の合計）
 *8 内閣府「県民経済計算 令和2年度」

業容と千葉県内シェアの推移

千葉県内の預金、貸出金シェアは順調に拡大

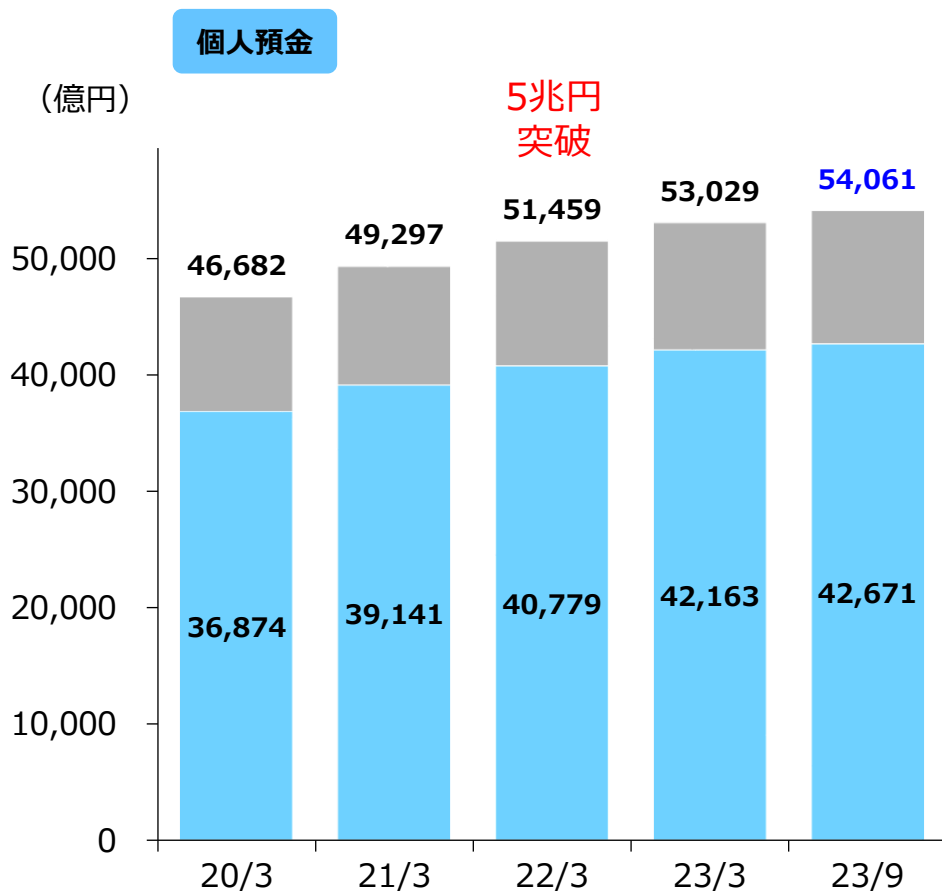
預貸金残高と千葉県内シェア



預金・貸出金ともにバランスよく増加

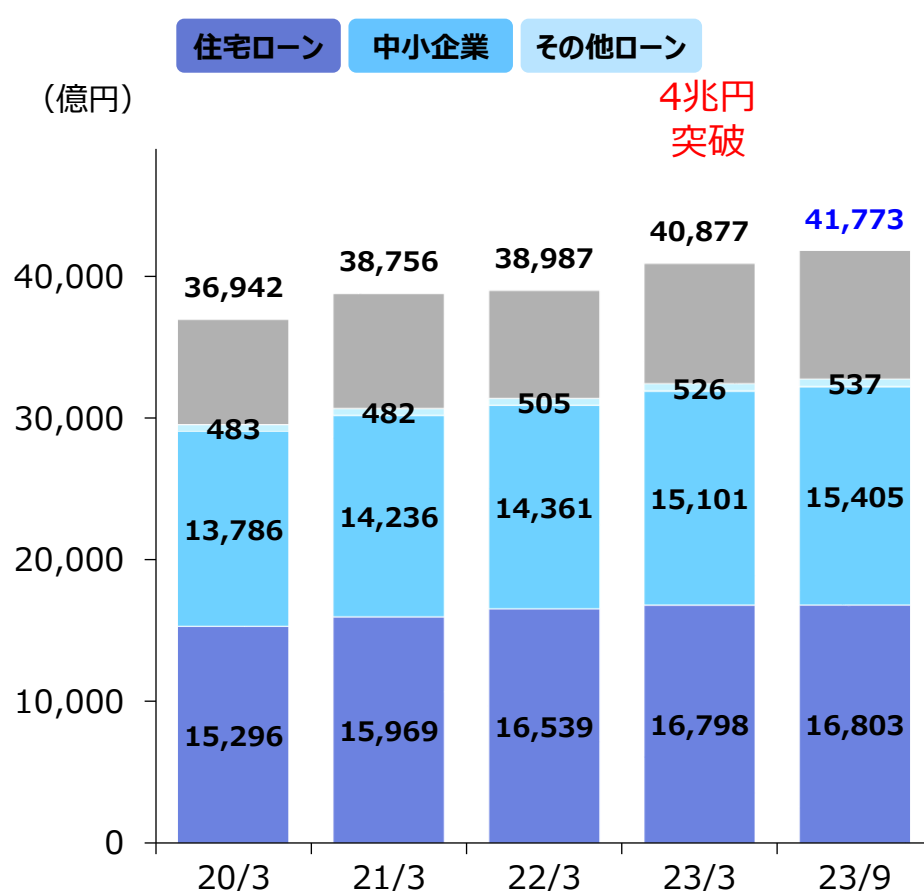
預金残高

- 個人預金 全体の約8割



貸出金残高

- 中小企業向け・個人向け 全体の約8割



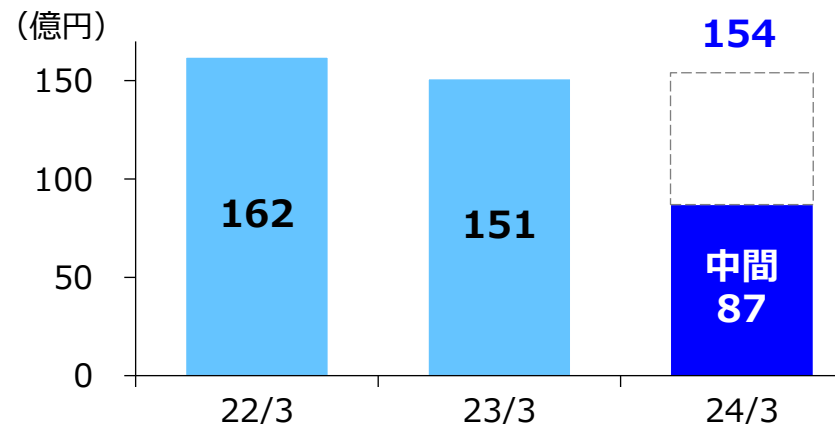
2024年3月期 中間決算概要および通期見通し

資金利益や役務取引等利益が増加、通期業績予想に対して順調に進捗

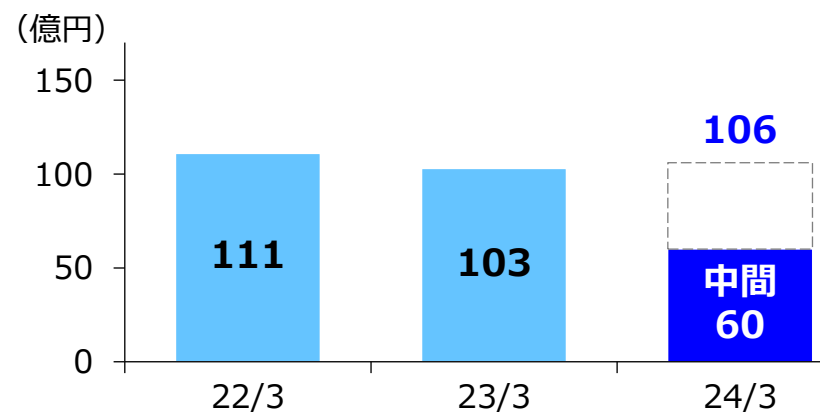
(億円)

単体	2022/9	2023/9	前年同期比
業務粗利益	230	237	7
資金利益	236	238	2
役務取引等利益	29	33	3
その他業務利益	△35	△33	1
うち国債等債券損益	△35	△29	5
経費 (△)	170	171	0
コア業務純益	95	96	1
経常利益	93	85	△8
中間純利益	65	59	△5
実質与信関連費用 (△)	△23	3	26
連結	2022/9	2023/9	前年同期比
経常利益	95	87	△8
親会社株主に帰属する 中間純利益	65	60	△5

経常利益 (連結)

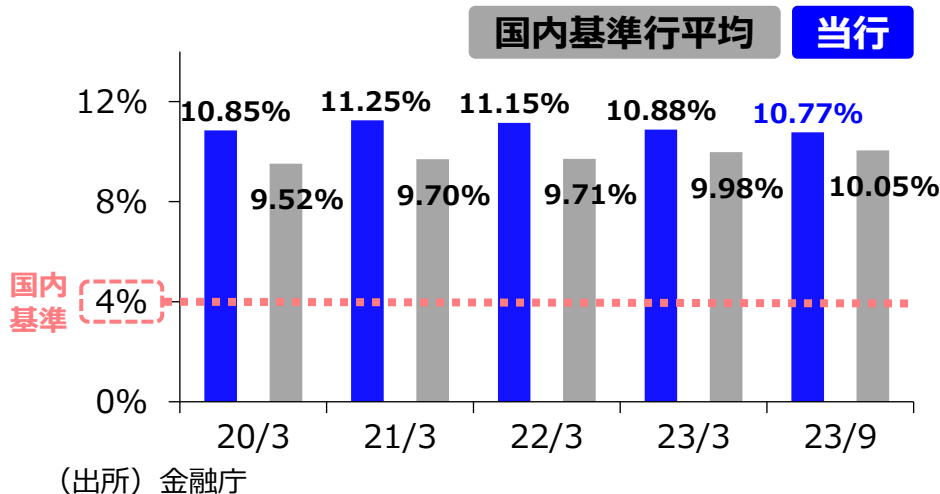


親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)

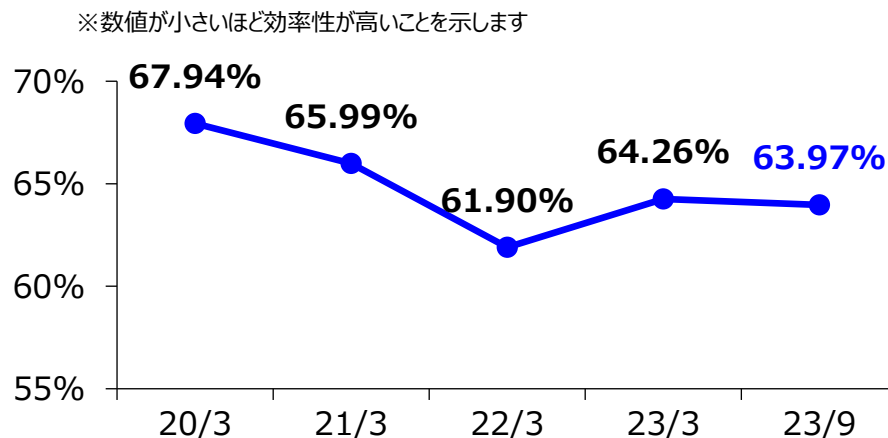


高い健全性、効率性を維持、地域のお客さまへ安定的に資金を供給

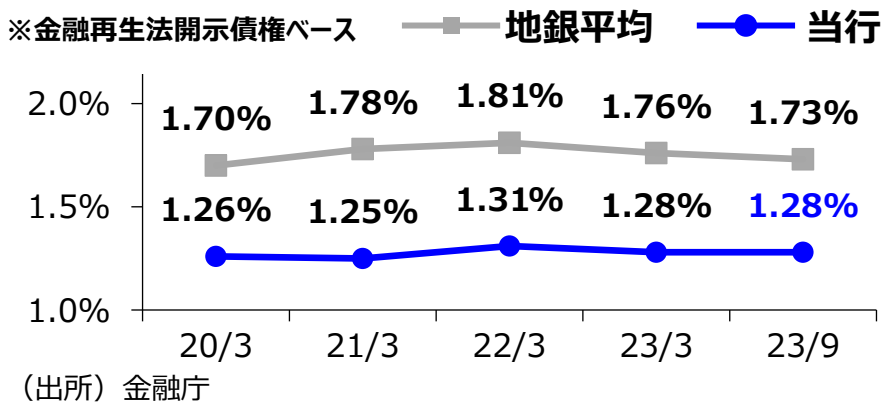
自己資本比率 (単体)



OHR (単体)



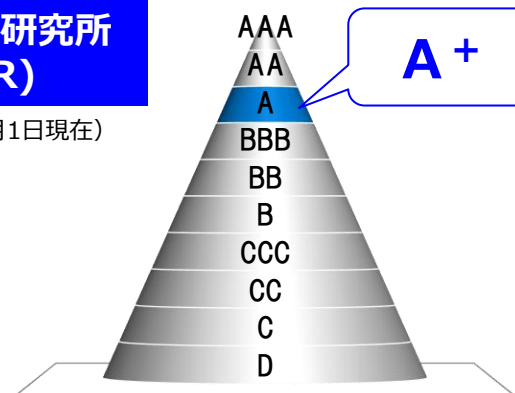
不良債権比率 (単体)



外部格付

日本格付研究所 (JCR)

(2023年12月1日現在)



1. 京葉銀行の特徴・強み

P. 2

2. 株主さまへの還元

P. 10

3. 将来へ向けた成長戦略

P. 14

4. ESG・SDGsの取り組み

P. 25

ステークホルダーへの適切な利益配分を実施しつつ、健全性を維持

資本政策

基本方針

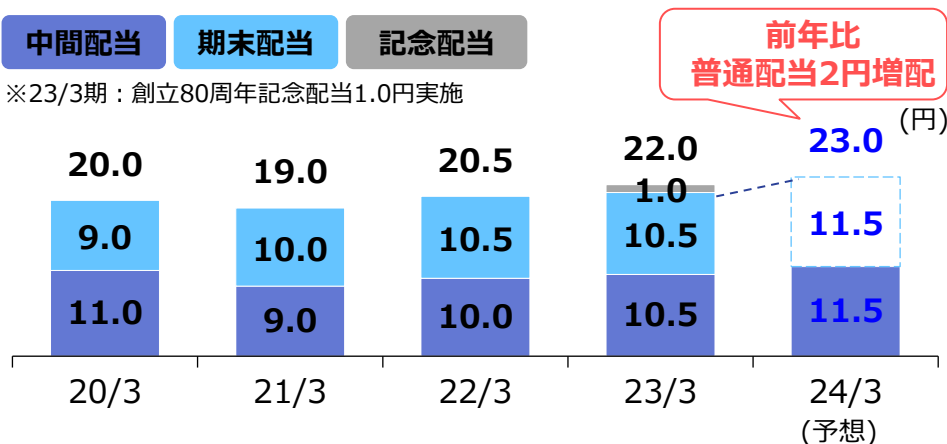
- 銀行業の公共性に鑑み、健全経営と内部留保の充実に努めるとともに、ステークホルダーへの適切な利益配分を実施

中長期的な方向性		第19次中計目標
株主還元	安定配当を基本としつつ 配当性向30%以上を目安とする	
健全性	自己資本比率は11%程度を目安とし、 十分な自己資本を確保する	

1株当たり配当金

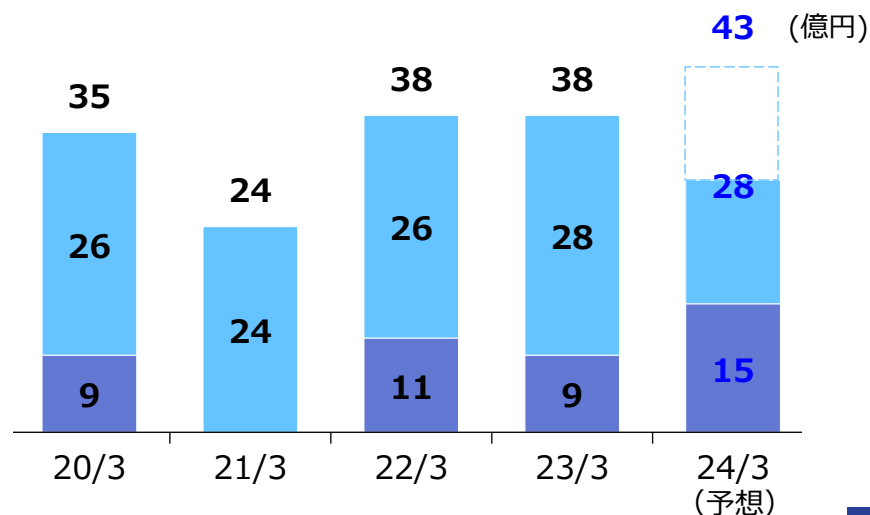
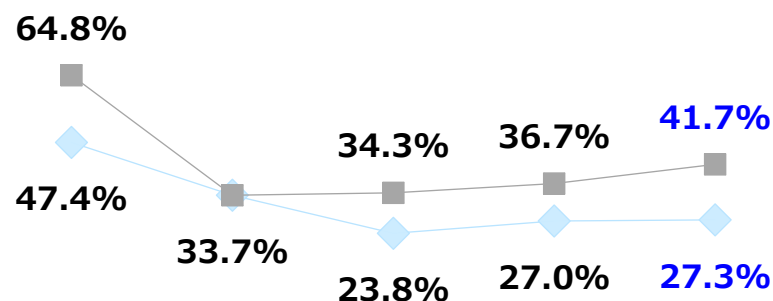
中間配当 期末配当 記念配当

※23/3期：創立80周年記念配当1.0円実施



株主還元 (単体)

自己株式取得 配当金総額 配当性向 総還元性向



東証プライム市場の平均配当利回りを上回る水準

配当利回り

京葉銀行 ^{※1}	3.06%
上場地銀平均 ^{※2}	2.90%
東証プライム市場平均 ^{※3}	2.04%
【参考】 個人向け国債 変動金利10年 ^{※4}	0.49%

高水準の
配当利回り

(※1) 2024年2月29日終値750円、2024年3月期年間配当計画23円（2024年2月29日時点の予想額）を基に算出

(※2) 上場地銀・グループの加重平均利回り（2024年2月29日終値）

(※3) 東証プライム市場全銘柄 加重平均利回り（2024年2月29日終値）

(※4) 第167回債（発行日2024年3月15日）

2つの魅力的な特典をご用意

特典① ギフトカード（QUOカード）の贈呈（年1回）

対象の株主さま

- 3月31日において1年以上継続して500株以上保有されている株主さまご本人

保有株式数	500株以上 2,500株未満	2,500株以上 5,000株未満	5,000株以上
ギフトカードの金額	1,000円 相当	3,000円 相当	5,000円 相当

特典② 選べる株主優待（年2回）

以下の2コースのいずれかより、お選びいただけます。

金利優遇コース

対象の株主さま（基準日：3月31日、9月30日）

- 500株以上保有されている株主さまご本人

保有株式数	500株以上 5,000株未満	5,000株以上
スーパー定期 店頭表示金利 +年0.2%	半期最大 100万円 〔年間最大 200万円 〕	半期最大 200万円 〔年間最大 400万円 〕

宝くじコース

対象の株主さま（基準日：3月31日、9月30日）

- 500株以上保有し、定期預金残高100万円以上お預け入れいただいている個人の株主さまご本人

保有株式数	500株以上 5,000株未満	5,000株以上
宝くじ枚数	半期 5枚 〔年間 10枚 〕	半期 10枚 〔年間 20枚 〕

1. 京葉銀行の特徴・強み

P. 2

2. 株主さまへの還元

P. 10

3. 将来へ向けた成長戦略

P. 14

4. ESG・SDGsの取り組み

P. 25

第19次中期経営計画の概要

社会課題 外部環境

コロナ禍

少子高齢化・後継者不足

低金利環境の長期化

ライフスタイルの変化

急速なデジタル化

規制緩和

SDGs

第19次中期経営計画 α ACTION PLAN 2024 ～さらなる進化～

計画期間 ● 2021年4月～2024年3月（3年間）

3つの基本戦略

基本戦略①

課題解決型営業の強化

地域社会やお客さまの課題を発掘し、解決策の提示と実行支援に取り組む営業を強化します。

基本戦略②

生産性の向上と人財の育成

デジタルを活用し、当行とお客さま双方の生産性向上を図るとともに、課題解決を行うための人財を育成します。

基本戦略③

経営基盤の強化

リスクとコストを適切にコントロールすることで、経営基盤を強化し、地域とともに持続的な成長を目指します。

目指す銀行像

お客さまに信頼と利便性、高い満足度を提供する
魅力のある、活力あふれる銀行

ソリューション提供体制や人財育成を強化した結果、経営指標は概ね順調に推移

基本戦略①

課題解決型営業の強化

本部直接営業の強化

グループ内外の連携の強化

既存メニューの高度化

新商品の開発・新業務への参入

事業性評価の深堀

高齢化社会に向けた金融サービスの強化

基本戦略②

生産性の向上と人財の育成

エリア制の全店展開

戦略的人員再配置

非対面チャネルの拡充

本部集中化の促進

基本戦略③

経営基盤の強化

サステナビリティ体制整備

外部連携の拡大

継続的な物件費削減

有価証券運用の多様化

経営指標の進捗状況	前中計最終年度 21/3実績	中計1年目 22/3実績	中計2年目 23/3実績	中計最終年度 23/9中間実績	中計最終年度 24/3見通し	中計最終年度 24/3目標
親会社株主に帰属する当期純利益	73億円	111億円	103億円	60億円	106億円	80億円
自己資本比率（連結）	11.29%	11.17%	10.88%	10.77%	11%程度	11%程度
OHR（単体）	65.99%	61.90%	64.26%	63.97%	60%台	60%台

課題解決型営業の体制整備とメニューの拡充により、多様なニーズに対応

ソリューション提供体制の強化

本部直接営業の強化

- 法人営業部内にソリューション営業チーム新設

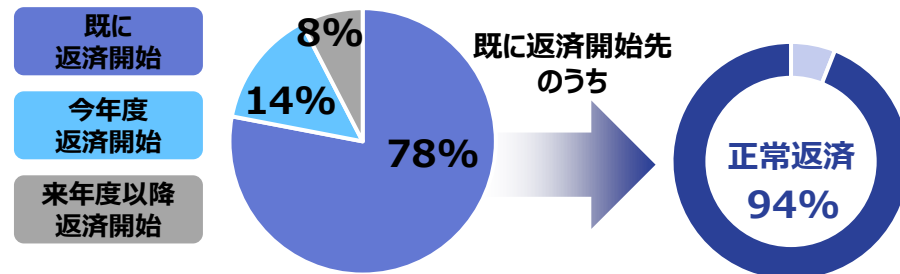
グループ内外の連携強化

- りそなHDなどの外部パートナーを含む、内外連携を強化し最適なソリューションを提供



資金繰りサポート

- ゼロゼロ融資の取り組み状況 (2023年3月時点)



お客さまの企業価値向上を伴走支援



事業性評価

未来伴走シート
2,268件作成*
(2022年10月リニューアル)
※2023/9末現在

資金繰りサポート

- 経営改善計画策定支援 (405事業)
- ※2022年度実績：51件 県内シェア50%超
- ゼロゼロ融資先へのきめ細やかなモニタリング

成長投資サポート

- 円滑な事業承継に向けた資産有効活用などの提案
- 不動産ノンリコースローンの自行組成開始
- 業務提携先の拡充による多様なメニューの提供

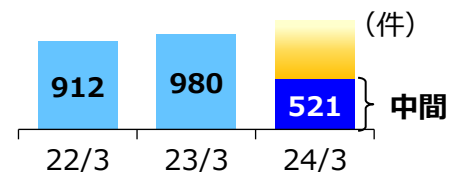
環境対策サポート

- SDGs取組支援サービスを活用したニーズ喚起
- サステナブルファイナンス活用
- 再生可能エネルギー関連プロジェクトファイナンスの自行組成開始

成長投資サポート

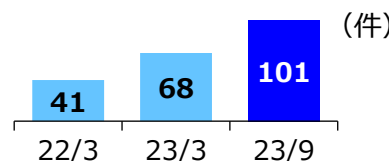
- ビジスマッチングプラットフォーム「aBMS」稼働 (リンカーズ提供システムを首都圏で初導入)
- 業務提携先の拡充

BM (有償) 成約件数 (年度ごと)



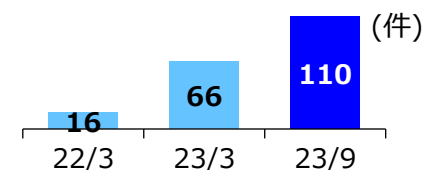
人材紹介ソリューション提供件数※1

人材紹介業22/4スタート



ICTソリューション提供件数※2

ICTコンサルティング22/4本格稼働



※1人材紹介成約 + 人材関連BM成約

※2ICTコンサルティング成約 + ICT関連BM成約

コンサルティング機能の強化により、法人ソリューション関連手数料、中小企業向け融資は堅調

環境対策サポート

- お客さまの規模や取り組みフェーズに適合するソリューションを提供

	ソリューションメニュー	
大・中堅企業	α サステナビリティ・リンク・ローン α グリーンローン α ソーシャルローン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際原則に準拠したファイナンス ・ 第三者評価機関によるレビューが必須
	ビジネスマッチング	<ul style="list-style-type: none"> ・ CO₂排出量簡易算定 ・ お客さま同士を繋ぐシナジー効果
中小企業	SDGs取組支援サービス SDGsローン	<ul style="list-style-type: none"> ・ SDGs取組評価・宣言支援ツールの活用 ・ SDGsを推進する企業の資金サポート

SDGs取組支援サービス

- 中小企業のお客さま向けにSDGs取組評価・宣言支援ツールを活用



※2023/9末現在

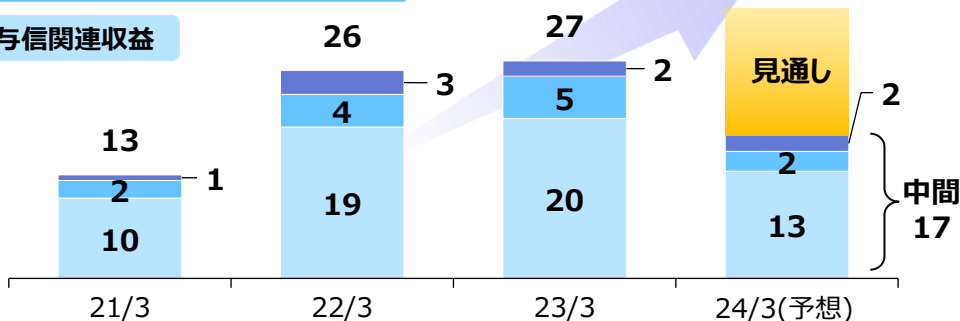
法人ソリューション関連手数料

京葉銀キャピタル&コンサルティング分 (M&Aなど) 等

京葉銀C&C (億円)
2019年4月設立

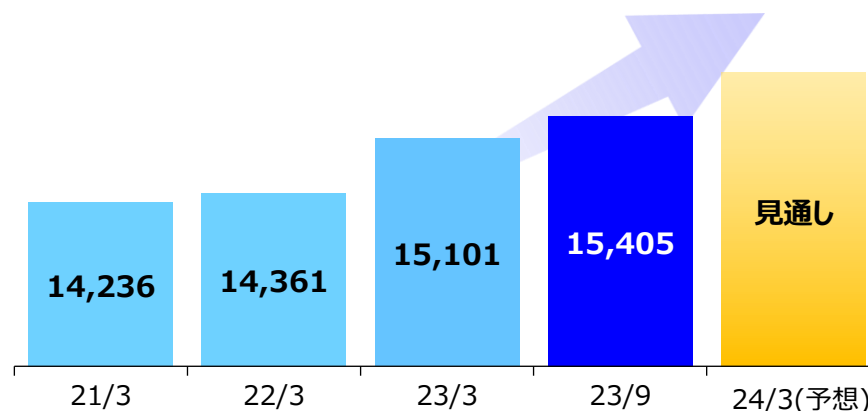
ビジネスマッチング (BM) 収益

与信関連収益



中小企業向け融資残高

(億円)



お客さま一人ひとりに寄り添った最適なプランニングを提供

高齢化社会に対応した金融サービスの提供

① ライフプランコンサルティング

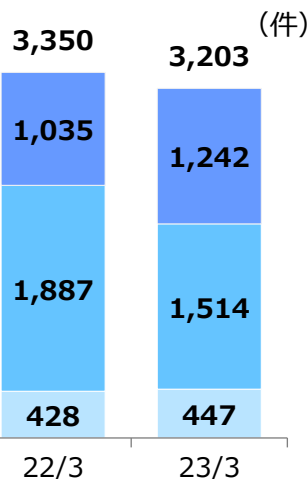
- 退職を控えたお客さまなどに対し、人生をより豊かにするための生活設計をサポート

② 総資産サポート面談

- 企業オーナーや富裕層のお客さまなどに対し、総合的な相続対策をプランニング

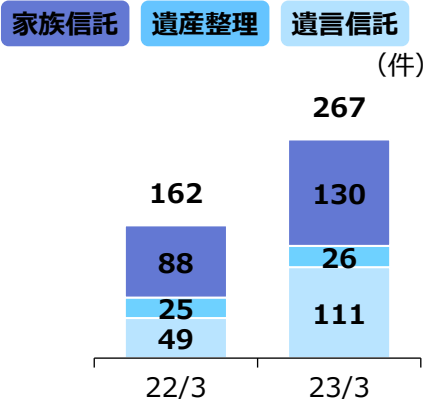
③ 事業承継・M&Aサポート

- 後継者不足に悩むお客さまなどに対し、円滑な事業承継や事業売却をサポート



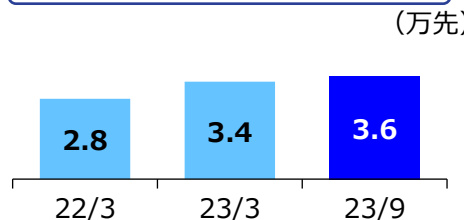
中計目標 ①～③ 合計3,000件の面談を実施（毎年度）

相続関連商品成約件数（年度ごと）

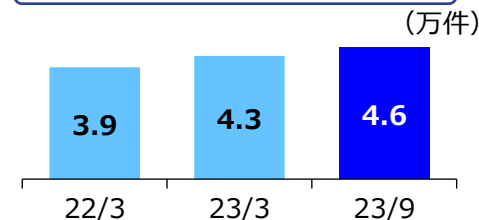


人生100年時代を見据えた資産形成

投信積立先数



NISA口座開設数



ファンドラップ取扱開始

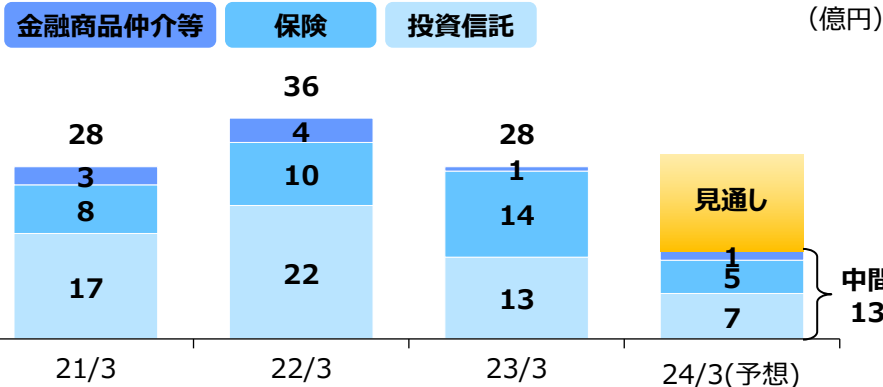
- ライフプランに応じた運用プランのご提案

ラインアップを拡充

つみたて投資枠対象商品22ファンド取扱開始

- 2024年1月から始まった新NISA制度を活用した資産形成を全力でサポート
- 長期・分散・積立を低コストで実現するノーロード商品（申込手数料無料）

預かり資産関連手数料



住宅ローンを入口に、お客さまとの生涯取引へ繋げる

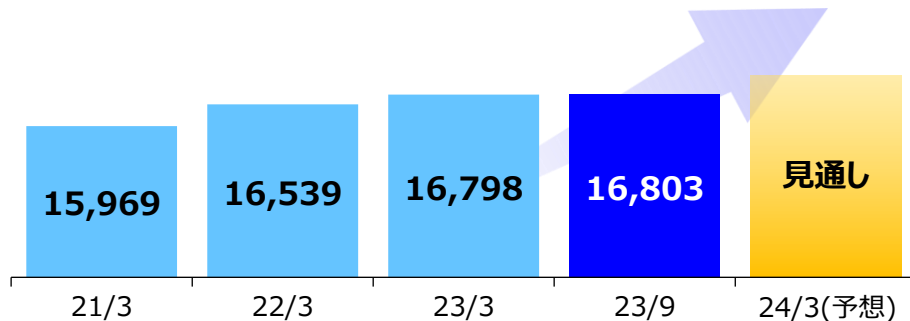
住宅ローン拡大に向けた取り組み

他行との差別化	融資期間最長40年 ●若年層の方にゆとりを持った返済方法
	環境配慮型住宅に特別金利適用 ●環境配慮型住宅の購入・建築で金利優遇
利便性向上	審査スピード向上 ●審査の本部集中化推進により迅速回答
	デジタル化促進 ●電子契約導入によりお客さま負担の軽減
受付チャネルの拡充	「住宅ローンの窓口 ONLINE」の活用 ●幅広いお客さまに当行の住宅ローンをご案内

住宅ローン残高

※24/3中計目標は部分直接償却実施前

(億円)



住宅関連ローンの取り組み

住宅ローンと同時審査で急な資金需要に対応する無担保ローン

特典フリーローン・利用者専用借換ローン

利用者限定カードローン



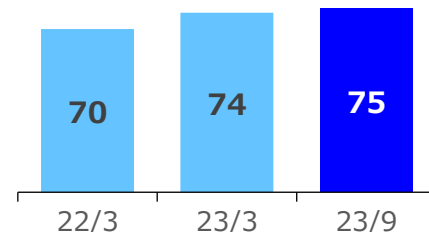
他社ローンのおまとめも可能な低金利ローン



住宅ローンと同時審査で急な資金需要に対応

利用者限定特典ローン残高

(億円)



他社ローンのおまとめや、ゆとりある暮らしを提案する低金利ローン

フリー住宅ローン
2019年4月開始

住宅リバースローン
2018年12月開始



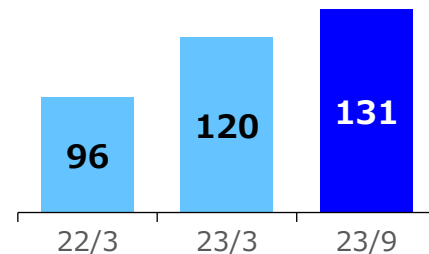
住宅取得資金を含む多様な資金需要に対応



ゆとりあるセカンドライフのために資産を活用

フリー住宅ローン・住宅リバースローン残高

(億円)



「POLESTAR計画」に基づきオムニチャネル戦略を進化

オムニチャネル戦略の進化

非
対
面



スマホ

非対面チャネルの機能強化

- 来店不要の対象取引を拡大

投信口座Web口座

Web完結ローン

2022年12月 開始



PC

- オンラインでの年金・相続等の個別相談

オンライン相談サービス

- さらなる利便性向上に向けた取り組み

AIチャットボット

法人ポータルへの導入検討

2022年8月 導入

融合

対
面



窓口

店頭改革

- デジタル活用による業務効率化

来店予約サービス

住宅ローン契約電子化

2022年11月 全店拡大

2022年10月 導入



渉外

電子受取証システム

2023年3月 導入

次世代勘定系システム

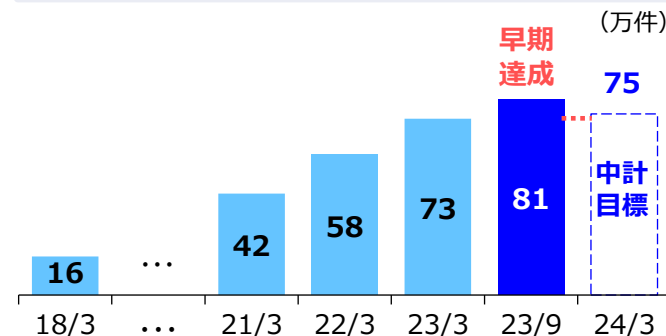
2025年1月 稼働予定

データ利活用・
マーケティング高度化

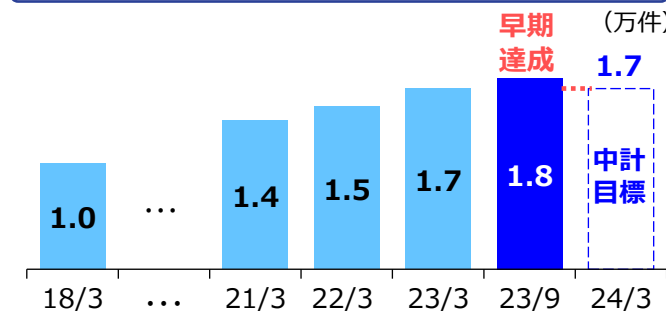
DXを加速

個人デジタル接点数※

※インターネットバンキング、スマホアプリ、どこでもサインイン、LINEお友達登録、Salesforce クラウドマイページの合計



法人 I B 契約数



外部評価

2022年10月 取得

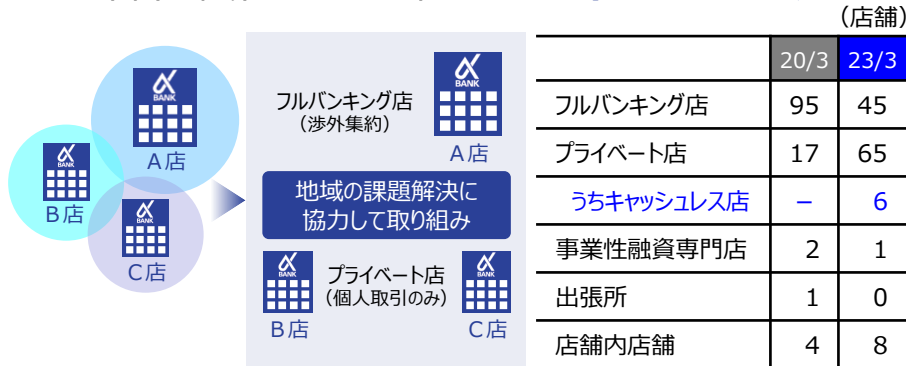


効率的な営業と重点分野への再配置により、戦略・施策の取り組みを加速

エリア制の進化による顧客接点拡大

エリア制の全店拡大

- 前中計で試行したエリア制を**2021年度に全店に拡大**



※ローンプラザ、インターネット支店、外貨両替所除く

- 店舗特性の見直し

キャッシュレス店舗

- 全窓口での現金取引をATMなどに集約することで、スピーディかつスムーズなお手続きが可能
- じっくりと時間をかけてお客さまのサポートを行うことで、コンサルティングを充実



コンサル特化に向けた業務効率化

- 本部集中化の促進

全店で導入済

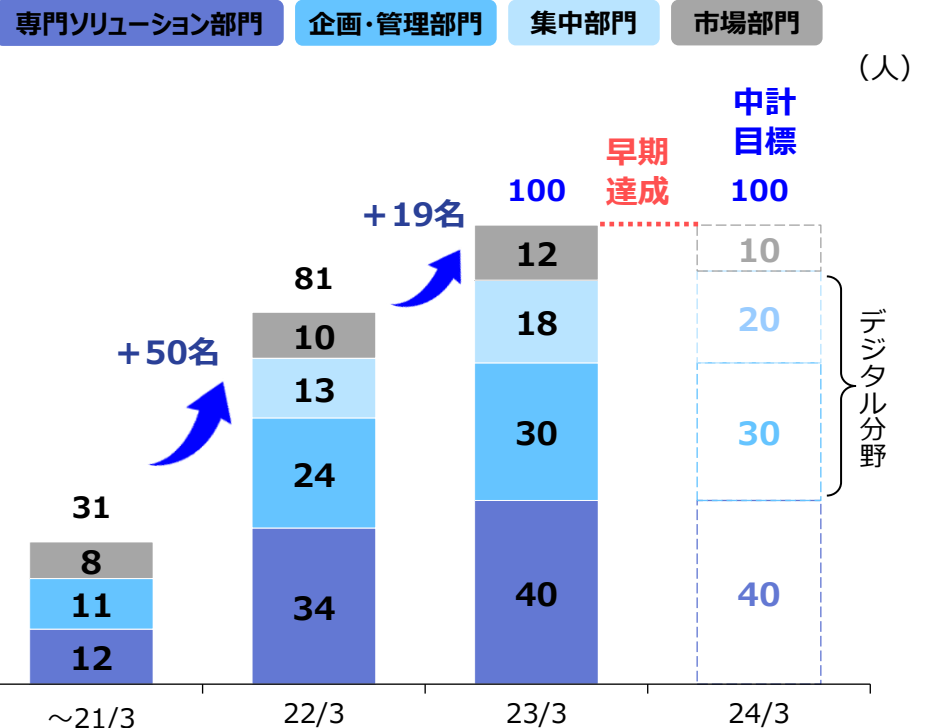
コールセンターの導入

住宅ローン審査本部集中

人員の戦略的再配置

- 前中計にて取り組んだ業務効率化に加え、店舗体制見直しにより捻出した人員を重点分野へ再配置

重点分野への人員再配置状況（累計）



地域とお客さまに高い付加価値を提供できる人財を育成

専門人材の育成強化

業務別・階層別研修の見直し・拡充

- 重点テーマを中心に研修体系の見直しに着手



計画的なスキルアップと
キャリア形成を促進



- 新たな研修体系
 - ✓ スキルの見える化
 - ✓ 保有スキルに応じたカリキュラムとOJT環境の整備
 - ✓ 卒業基準を明確化および効果検証報告の義務化

専門スキルの取得

- 行内外トレーニー制度活用
- キャリア採用の強化

早期達成

外部機関派遣・受入	
23/9	24/3目標
41名	40名

取引先の課題に応える人材

- 中小企業診断士 15名
- 社会保険労務士 23名
- 証券アナリスト 12名

※2023/9時点

FP 1 級取得者	
23/9	24/3目標
118名	150名

働きがいの向上

自律的なキャリア形成支援

- キャリアチャレンジ制度
- 社内副業の開始
- 社外副業・兼業の解禁

キャリアチャレンジ採用者

11名 (2022年度)

社内副業採用者

19名 (累計)

融資審査・事務効率化、
地方創生、デジタル部門などへ

処遇の改善

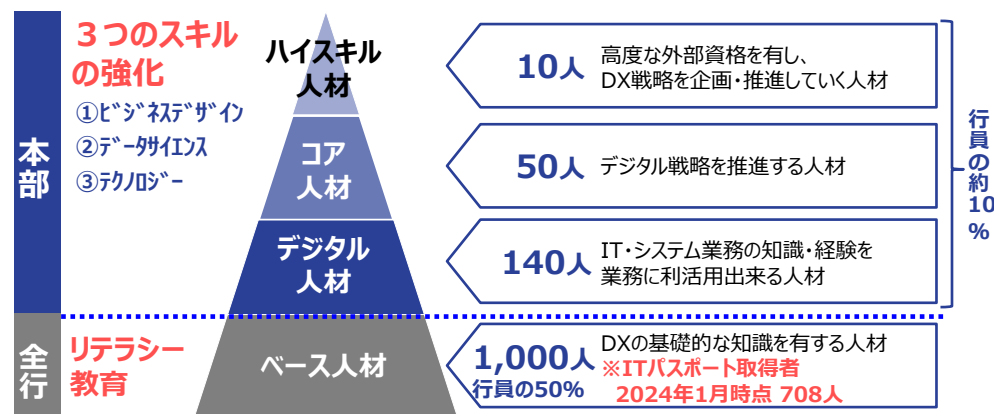
- 賃金水準や雇用体系の見直しを実施

賃金水準の引上げ

エキスパート
社員制度

シニアスタッフ
社員制度

デジタル人材育成計画 ～2025年度



連携強化により地域の皆さまに最適なソリューションを提供

戦略的業務提携の概要（2021年8月提携開始）

提携効果イメージ

100億円

（5年累計、両行合計額）



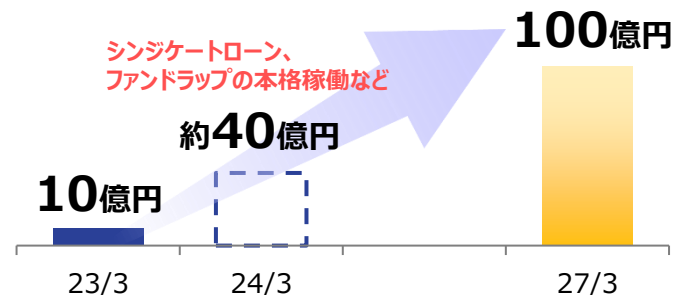
3つの分野で業務提携

デジタル

ソリューション

人財育成

提携効果の状況



主な取り組み

- ソリューション分野を中心に提携施策をスタート（カッコ内は2023年9月末実績）

デジタル	<ul style="list-style-type: none"> ● バンキングアプリの開発に向けた基本合意書締結
ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ● 相互紹介によるシンジケートローン組成連携（約2年の連携実績計22件） ● ビジネス商談会共催※1（計3回、累計参加社215社） ● 不動産ビジネスマッチング業務開始（2022/4～、累計実績4件） ● りそなファンドラップの取扱開始*2（2022/6～、累計実績84億円） ● りそなグループが運営するM&Aプラットフォームへ参加
人財育成	<ul style="list-style-type: none"> ● りそな銀行との人財交流開始

*1事例

ビジネスマッチング商談会

お取引先のバイヤーと両行のお客さまをマッチング



*2事例

ファンドラップ

ライフプランに応じた最適な運用プランのご提案



1. 京葉銀行の特徴・強み

P. 2

2. 株主さまへの還元

P. 10

3. 将来へ向けた成長戦略

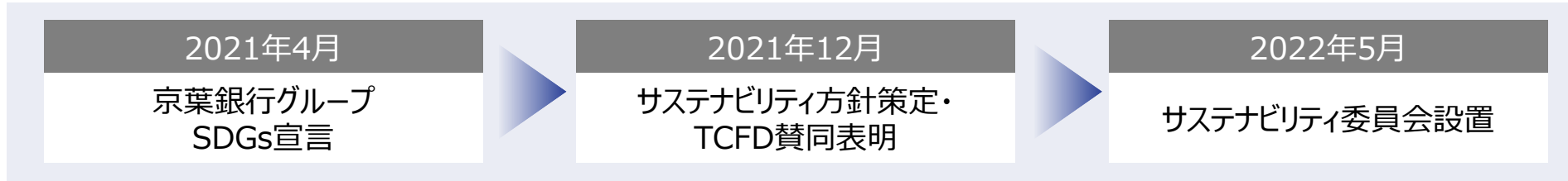
P. 14

4. ESG・SDGsの取り組み

P. 25

サステナビリティを巡る課題への体制整備を着実に実行

サステナビリティ経営体制の整備



京葉銀行グループサステナビリティ方針の策定

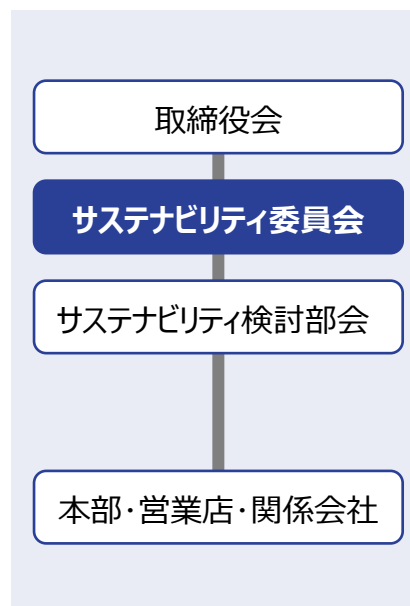
- サステナビリティに対する基本的な考え方を改めて整理
- 金融仲介機能の発揮とお客さま本位の良質なサービスの提供等を通じて、気候変動等の環境問題をはじめとするさまざまな社会的課題の解決に取り組む
- 地域経済の発展と当行グループの企業価値向上の好循環サイクルを創出

持続可能な社会の実現に貢献



サステナビリティ委員会の設置

- 頭取を委員長とする委員会を設立し、推進体制を強化



- サステナビリティ向上に資する取り組みの進捗を一元管理するとともに、取締役会の監督を受ける体制へ
- 併せて下部組織として「サステナビリティ検討部会」を設置し、サステナビリティを巡る課題への具体的な対応について組織横断的に検討する体制へ

脱炭素・循環型社会の実現に貢献

気候変動リスクへの取り組み

- 2021年12月、TCFD※提言への賛同を表明
- 気候関連財務情報開示と脱炭素社会の実現に向けた取り組みを強化

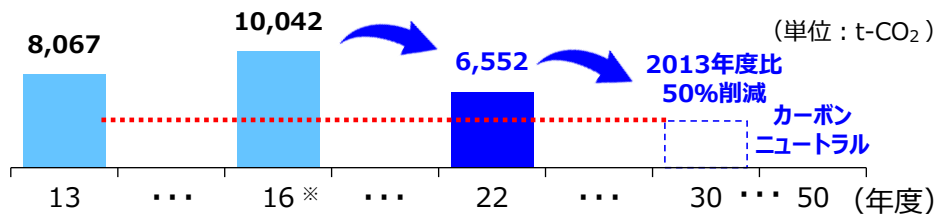


※気候関連財務情報開示タスクフォース

CO₂排出量の削減目標

2030年度に2013年度比50%削減
2050年度にカーボンニュートラルを目指す
(SCOPE1およびSCOPE2)

CO₂排出量の推移



※千葉みなと本部が通年で稼働した2016年度をピークに減少

	2020年度	2021年度	2022年度
SCOPE1	1,200	1,307	1,307
SCOPE2	7,114	6,748	5,245
合計	8,314	8,055	6,552

千葉みなと本部の再生可能エネルギーへの移行

- 千葉みなと本部では、使用電力の全量を再生可能エネルギーへ移行済

導入済の環境負荷低減施策

- 屋上庭園化
- 壁面緑化
- 太陽光発電設置



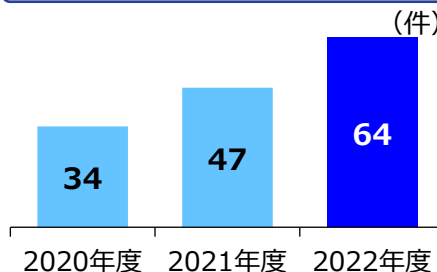
建築環境総合性能評価システムCASBEE (キャスビー)※において最上級のSランクを取得

※一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 (IBEC) による建築物を環境性能で評価し格付けする手法。省エネルギーや環境負荷の少ない資材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や環境への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステム。

千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト

- 2017年より産学連携のプロジェクトをスタート
- SDGs達成に向け、学生発案の啓発活動や環境貢献企画を実践

企画数 (累計)



2022年度の主な取り組み

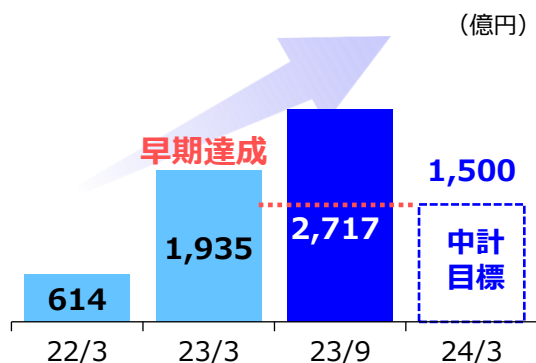
Chiba's Bazaar ～古着でつなげるエコの糸～

学生や行員から回収した衣服を地域住民へ販売するとともに、売上金の全額を千葉大病院へ寄付



ソリューションを通じて地域のサステナビリティに貢献

ESG関連投融資※の目標・実績



長期目標
(2030年度)
7,000億円

※2021年4月からの累積実行額
環境・再生可能エネルギー分野向け、
医療・介護分野向け投融資等、
ESGに資する投融資

個人のお客さまとの取り組み

- お客さまの資産形成などを通じたソリューション提供

環境配慮型
住宅ローンの推進

SDGs関連投資信託の
ラインアップ

2023年6月、紙媒体での定期預金満期案内廃止やPay-easy収納サービスの利用に応じたちば環境再生基金への継続的な寄付が評価され、ちば環境再生推進委員会より、感謝状を受贈



法人のお客さまとの取り組み

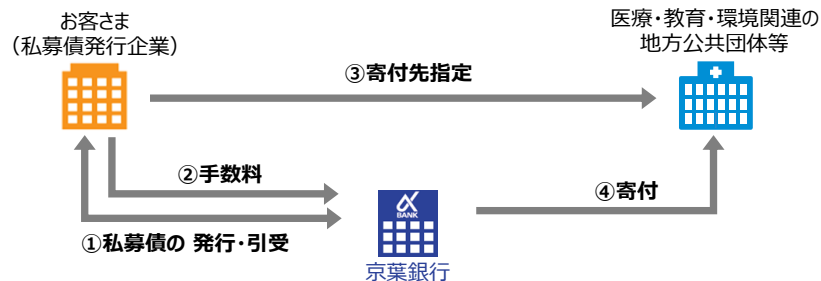
SDGs私募債引受けを通じた社会貢献

- 発行企業さまからいただいた手数料の一部を、医療・教育・環境関連の法人や千葉県などの地方公共団体等に寄付

発行実績 307件 229億円

寄付総額 4,588万円

※2023/9末時点



地域との取り組み（香取市佐原の町おこし）

- 「北総の小江戸」と呼ばれる佐原地区の町並みを、歴史的な観光資源として活かした地域振興の取組（佐原信用金庫共同PJ）

2015.9 「千葉・江戸優り佐原観光活性化ファンド」出資（2016.10事業会社設立）

2018.3 古民家を改装した「佐原商家町ホテルNIPPONIA」オープン

2021.3 酒蔵を改装したバンケットルームオープン

2022.3 事業会社へのファンド出資を直接出資へ切替



2023年2月、地域の再生・活性化に取り組んだことが評価され、地方新聞46紙と共同通信社から成る地域再生大賞実行委員会より、『地域再生大賞優秀賞』として表彰

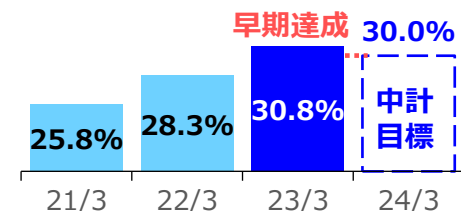


自分らしく生活できる社会づくりに貢献

女性活躍推進

- 女性の活躍を人財戦略の重要なテーマと位置づけ、マネジメントを担う人財の育成・登用を推進

指導的地位※に占める女性比率



※係長以上の役付行員（基準日：年度末日の翌営業日）

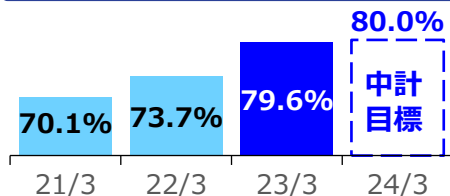


女性活躍推進法に基づき、女性活躍に関する取り組みが優良な企業の認定

多様な働き方の実現

- 誰もが安心して働き続けることができる職場環境を目指し、フレックスタイム制度やチャイルドプラン休暇などを導入

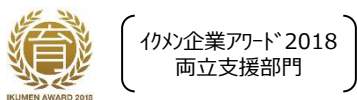
有給休暇取得率



優良な「子育てサポート」企業であることにプラスして、不妊治療と仕事との両立をサポートする企業の認定

育児休業取得率

男性 100%
女性 100%



厚生労働省による男性の育児と仕事の両立を促進し、業務改善を図る企業を表彰する制度

健康経営への取り組み

- 2021年4月、「健康経営宣言」を制定
- 従業員の健康管理を経営課題として取り組むことにより目指す銀行像を実現

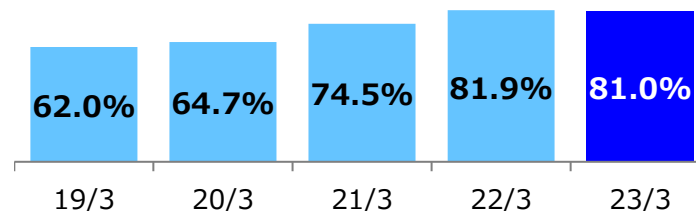


2023年3月、経済産業省と日本健康会議が協同で選定する「健康経営優良法人2023」に2年連続で認定

従業員エンゲージメントの向上

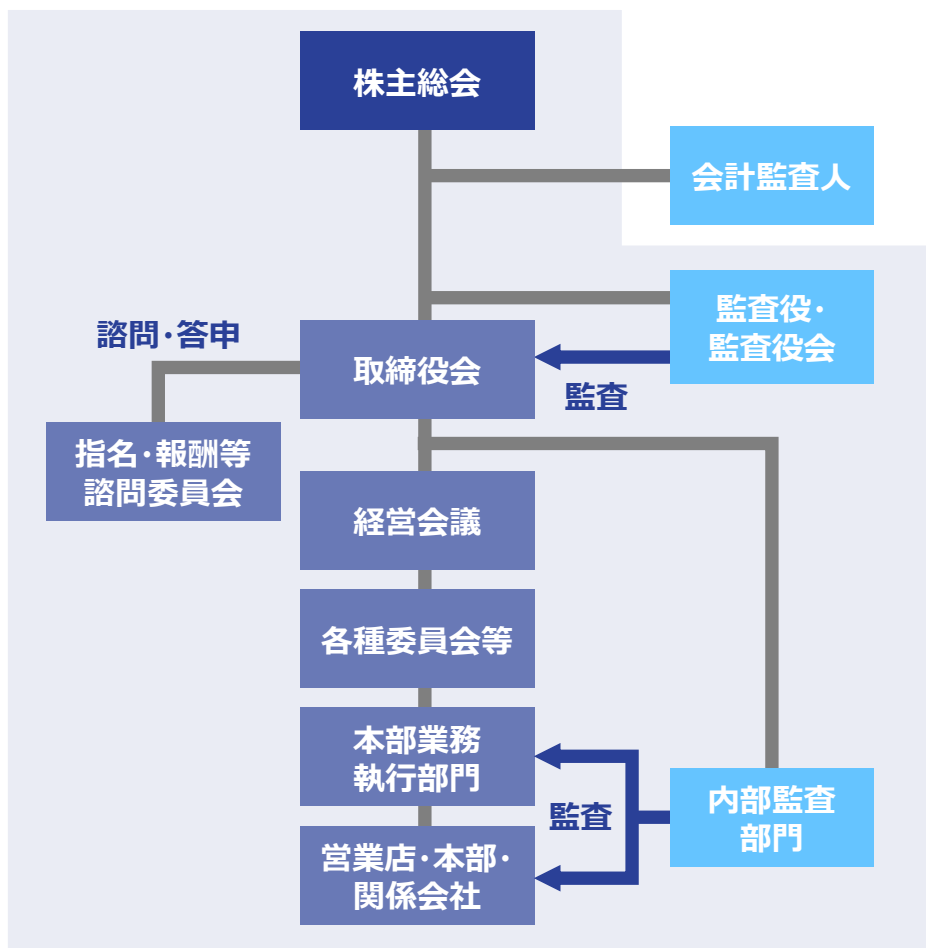
- 仕事や職場環境に関する現状の課題を抽出し、より働きがいのある会社づくりに向け、従業員満足度調査を実施
- 「当行で働くことに満足」と評価する従業員の比率向上を目指し、各種取り組みを推進

従業員満足度調査で「当行で働くことに満足」と評価した従業員比率



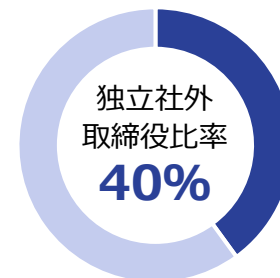
多様な視点を取り入れた公正で透明性の高いガバナンス体制

ガバナンス体制



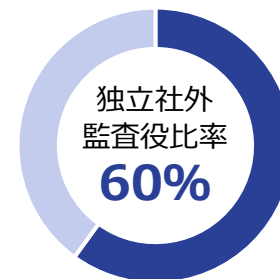
取締役会

- 独立社外取締役 4名 / 10名
(うち女性 1名)



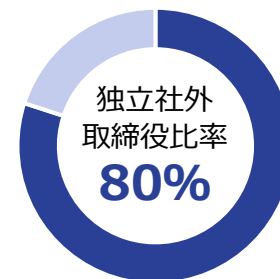
監査役会

- 独立社外監査役 3名 / 5名



指名・報酬等諮問委員会

- 独立社外取締役 4名 / 5名
(うち女性 1名)



第20次中期経営計画に向けて

これまでの歩みと今後の方向性

＜政府＞ 成長と分配の好循環

＜法人＞ 生産性の向上・事業再生
＜個人＞ 資産運用ニーズの高まり

より専門性の高いソリューション
伝統的な預貸金業務

長引く低金利環境（マイナス金利）

金利のある世界

15/3
千葉みなと本部竣工



取引基盤の
拡大

第17次中期経営計画
～変革と実行～
(15/4～18/3)

- 千葉みなと本部の稼働
- 「安全・便利・快適」な店舗リニューアル
- インターネット支店の開設

コンサルティングの
拡大

第18次中期経営計画
～さらなる飛躍～
(18/4～21/3)

- 法人営業部、個人営業部、デジタルビジネス推進部新設
- 京葉銀C&Cの設立
- エリア制の開始

23/3
創立80周年



80年の感謝を込めて

課題解決型営業の
強化

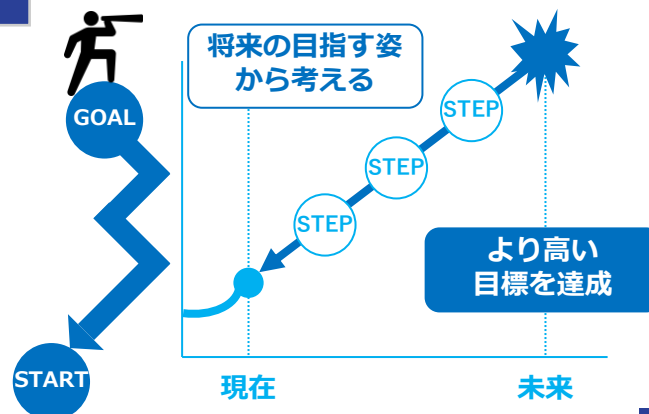
第19次中期経営計画
～さらなる進化～
(21/4～24/3)

- 本部直接営業の強化
- エリア制の全店展開
- りそなHDと戦略的業務提携

社会課題の解決力強化

第20次中期経営計画

バックカスティング



① 恵まれたマーケットと強固な営業基盤

- 千葉県は人口規模全国 6 位、バランスの取れた経済圏
- 県内貸出金シェア約 2 割、預金シェア約 1 割

② 当行の成長戦略

- 課題解決型営業を強化し、収益増強と多角化を推進
- りそな H D など外部パートナーとの連携を活用し、付加価値の高いサービスを提供

③ 魅力的な株主さま還元

- 配当利回り 3.06% (2024年2月29日現在)
- 株主優待制度 ①ギフトカードの贈呈 ②選べる株主優待

参考資料

ホームページ

IR説明会資料

統合報告書・ディスクロージャー誌

IR資料などがご覧いただけます



10年間の株価推移（2014年2月～24年2月）

京葉銀行（8544）月足




年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023 (予想)
年間配当金 (円)	11.0	11.0	11.0	11.0	16.5 [※]	20.0	19.0	20.5	22.0	23.0

※2018年10月1日付で株式併合（2株を1株に併合）を行いました。

京葉銀行のコミュニケーションシンボル



「」の文字が描く重なりと上方へ伸びてゆくラインは、人と人との“きずな”と、そこを出発点に無限に伸びてゆく未来をあらわしています。

コミュニケーションネームの「アルファバンク」は、
“人とのきずなを大切に、無限の未来を切り開いてゆきたい”
“常に皆さまにプラスアルファを提供し続ける銀行でありたい”
そんな京葉銀行の思いをあらわしています。

＜本資料に関する照会先＞
株式会社 京葉銀行 経営企画部 広報グループ
TEL：043-306-8065

本資料には将来の業績に関わる記述が含まれていますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。また、本資料は情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券を推奨するものではありません。